

ふたばこども園

園 便 り 6 月 号

ふたばっ子

令和4年6月1日発行

文責 園長 納富博文



あじさい

※園日より「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。

まだまだ気が抜けない新型コロナウイルス感染症

県内で1日 600 人を上回る陽性者があったオミクロン株による新型コロナウイルス感染がようやく落ち着いてきました。しかし、下火にはなったものの、今でも 100 人から 200 人台の陽性者が、毎日のように報告されています。特に、10 代未満や 10 代の子どもたちの感染が相変わらず高い割合を示しています。また、高校総体後の状況も気になるところです。こうした中、先日、マスクの着用を見直すとの政府の見解が出されました。

◇2歳児未満の園児はマスクの着用は奨めない。

◇2歳児以上はマスクの着用は一律に求めない。ただし、施設内に感染者が生じている場合は、可能な範囲でマスク着用を求める。というものです。

本園では2歳児未満については流行が拡大している時期でもマスクの着用は奨めていませんでした。2歳児以上についても、4月下旬時点で一律には求めないようにしました。これからもマスクの着用は保護者様の判断でお願いしたいと考えています。

ただし、園バスの乗車中については、これまで通りマスクの着用をお願いします。また、感染の状況によっては、マスクの着用を一時的にお願いすることがあるかも知れません。

マスクを着用しない場合は感染のリスクは高まります。また、まだ感染が終息しているわけでもありません。園としては、これからも気を緩めないで、感染の基本的な対策である「3密を避ける」や「手指消毒の励行」、「発熱や風邪の症状がある場合の登園の自粛」などをお願いしていきたくと思います。ご理解とご協力をお願いします。

新規採用の保育士のための公開保育

平成 30 年度（2018 年度）から毎年、佐賀県教育委員会からの依頼で、新採の保育士の研修の場を提供しています。ここ2年間は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、研修会は中止となりました。

今年度も依頼を受け、コロナの感染も落ち着いてきていることから、6月17日（金）に新採保育士のための公開保育を実施することになりました。残念ながら保護者の皆様の参観はできませんが、全職員が教育・保育を公開し、これからの保育のあり方を新採の先生方に参観してもらい、研鑽を積んでもらうことにしています。

ふれあい会（0・1・2歳児）へのご参加とご協力を

6月11日（土）は、もも組・りんご組の「親子ふれあい会」を予定しています。5月6日にコドモンでご案内をしています。ご確認をお願いします。

コロナ対策のため参加者数は1家族2名までとしています。「コロナ対策のための同意書」の提出や保護者の方のマスク着用など、お願いすることばかりですが、ご理解とご協力をよろしくをお願いします。

親子ふれあい会の内容など詳細については、6月8日（水）にコドモンでお知らせする予定です。当日は早朝よりご迷惑をおかけしますが、よろしくをお願いします。

田植え及び小動物とのふれあい体験活動

昨年、一昨年とコロナの感染拡大のため実施ができなかった、佐賀農業高校での「田植え及び小動物とのふれあい」体験活動を、今年は6月13日（月）に行うことになりました。

年長さんは当日、白石の佐賀農業高校で田植えの体験をします。どろどろの田んぼに入り、苗を植えます。また、農業高校の果樹園の探検や飼育してあるうさぎやプードル、モルモットなどの小動物と遊ぶ体験をする予定です。秋には、コロナの状況が落ち着いていれば、自分たちが植えた稲の収穫、「稲刈り」のお手伝いを予定しています。子どもたちの農業体験や自然とふれあう体験はとても貴重です。これからもたくさんの経験が積めるよう、保育の工夫を行っていきたくと思います。

教育実習が始まります

本園は、佐賀女子短大の付属園ですので、短大から保育士を目指す学生が、毎年保育の実習にきます。本年は、6月6日から17日までと、9月5日から9日まで、専攻のコース毎に分かれて実習を予定しています。また、女子短大以外にも、中村学園大学や西九州大学の学生たちが、2週間の実習にやってきます。子どもたちは「お姉ちゃん先生が来る」と、とても楽しみにしています。